

受領 令和5年3月2日 22時04分

通告番号 (14) 1/3

令和5年3月2日

読谷村議会
議長 伊波 篤 殿

読谷村議会議員
與那覇 沙姫 印

一般質問通告書

第524回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

| 質問要旨 | 答弁を求める者 |
|---|---------|
| <p>1 本村の乳幼児期の保育教育の質について問う。</p> <p>(1) 村長・教育長に乳幼児期の保育の質、教育の質とは何かを問う。</p> <p>(2) 本村の公立保育所、認可保育園の13園の各園の保育士欠員数を求める。クラス担任以外の週休・休憩・日々臨時保育士も含む。(例：担任が不在になり、休憩保育士等が担任になった場合は担任としてカウントせず、担任欠員として扱う数を求める。)</p> <p>(3) 公立幼稚園、各園の幼稚園教諭と預かり保育者・教育支援員・特別支援員の欠員数を正確に求める。(例：担任が不在になり、支援員等が担任になった場合は担任としてカウントせず、担任欠員として扱う数を求める。)</p> <p>(4) 施政方針で述べた保育士確保に向けて具体的な取り組みを伺う。</p> | |
| <p>2 本村の子どもの学ぶ権利の保障</p> <p>(1) 本村の公立小中学校に通う子どもたちの義務教育費は一年間でいくらになるか。小学校・中学校別で問う。</p> <p>(2) 本村の学校へ行かない・行きたくても行けない不登校児童への学ぶ権利の保障についてどう考えているのか伺う。</p> | |

| 質 問 要 旨 | 答弁を求める者 |
|--|---------|
| <p>3 本村で働く小中学校の教員の働き方について問う</p> <p>(1) 本村の小中学校の欠員している学級担任教員数(補充できたとしてもカウントしない数を求める)・専門科目教員数・擁護教員数・事務員数・栄養教諭数・栄養職員数・特別支援員数・スクールサポーター数の正確な欠員数を求める。</p> <p>(2) 中学校において、免許外の教科を担当する専門教科教員がいるのか伺う。</p> <p>(3) 養護教諭・学校事務職員、栄養教諭など少数職種の職員に対し、複数校勤務の辞令を発した例はあるか。また実際に複数校に勤務した職員はいるか伺う。</p> <p>(4) 初任研や生徒指導・教育相談など、学校から要求があった加配の数はどれくらいあり、配置できたのか。もしくは、配置できなかった場合の数も伺う。</p> <p>(5) 市町村教委雇用のスクールサポータースタッフや学習支援員・特別支援員の配置率はどれくらいか。募集条件を伺う。 (教員免許 有・無など)</p> <p>(6) 既存のテスト以外に、県と村の学力向上対策の検査問題やテストは年に何回あるのか。</p> <p>(7) 昨今の報道にある教員不足、人員不足の教育現場の現状を教育長はどのように認識し、今後どのように対応していくつもりか問う。</p> | |

| 質 問 要 旨 | 答弁を求める者 |
|---|---------|
| <p>4 保育所・幼稚園・こども園について問う</p> <p>(1) 読谷村の最高規範である「読谷村自治基本条例」の理念である村民が主役の村づくりの下、最上位計画「ゆたさむら実行プラン」そして、「第二期読谷村子ども・子育て支援事業計画」「読谷村教育・保育指針」を作成する上で、行政職員・保育者・村民・有識者などが集まり、話し合い、様々な計画を作り、そこを土台に村づくりを行っているはずですが、こども園ありきの計画なのか、それとも時代やニーズをしっかりと調査し把握した上で、より村民のための保育整備を行うのか、それとも長議決定で進むのか、村長に伺う。</p> <p>(2) 第2期読谷村子ども子育て支援事業計画にも明記されている人口推計・受け入れ態勢・人員体制・村内園再編構想・老朽化施設建て替え・公設・民設等を考慮したシミュレーションはどうなっているのか伺う。</p> <p>(3) 保育ニーズアンケート調査をどのように第2期子ども子育て支援事業に反映していくのか伺う。</p> | |
| <p>5 村づくりのためのふるさと納税の活用法について問う</p> <p>(1) 明石市や伊賀市のふるさと納税の使い道を調べてみると、病児保育事業に使う、保育士確保、里親推進事業、こども食堂、学校運営費に使用するなど、子育て世代に必要な具体的な取り組みをしていて、より気持ちよく納税できることがわかる。読谷村は事業名目が非常にわかりにくく、解釈によってはどんなものにも使用できてしまう。そうならないためにも、ガバメントクラウドファンディングを活用するなどふるさと納税のあり方を問う必要がある。それを踏まえ、1月31日時点のふるさと納税の基金残高が 388,774,594 円となっているが、どのように活用していく予定か伺う。</p> | |